



特集 1

まちかど座談会から

問▼秘書課広報広聴係
(8(71)2202)



昨年7月から11月にかけて、各地区公民館単位で開催したまちかど座談会。今回はさらに、世代別として、シルバー世代・勤労者世代・子育て世代の座談会を設けました。合計13回で、延べ667人の参加がありました。

■地区別

●開催日／場所／参加人数

- 7月8日／南部公民館／63人
 - 15日／東部公民館／51人
 - 8月3日／西部公民館／65人
 - 10日／昭林公民館／50人
 - 23日／桜井公民館／75人
 - 9月28日／北部公民館／83人
 - 29日／作野公民館／50人
 - 10月4日／安祥公民館／41人
 - 12日／中部公民館／64人
 - 28日／二本木公民館／34人
- 概要 時間は午後7時～9時。市長の講話と市政全般の質疑応答の2部制。講話は、主に防災と市政運営について

■世代別

●開催日／場所／参加人数
シルバー世代(シルバーカレッツ

ジ)↓8月25日／文化センター／26人
勤労者世代(消防団)↓10月18日／安城消防署／46人
子育て世代(家庭教育学級)↓11月15日／東部公民館／19人
●概要 概ね地区別と同様。時間は各回異なり、事前に提出された意見について質疑応答

■主な質疑応答

■既存のものを磨く取り組みについて
問 私に通う大学のある静岡市では、新たに何かを作るのではなく、既存のものを磨く、「まちみがき」という取り組みがある。デンパークなども、若者がもつと行きたくなるような場所にしてみてはどうか。広報紙で意見を募ってはどうか。

答 まちの状況により、まちづくりの考え方が違います。今あるものを大事にするということでは、本市は昭和41年建設の市庁舎を現在も使用しています。耐震面は一応大丈夫ですが、念のため、補強する準備をしています。市民会館も年月が経過していますが、耐震改修などをして使用しています。古い施設を改修して、大切に使うつもりです。

のため、補強する準備をしています。市民会館も年月が経過していますが、耐震改修などをして使用しています。古い施設を改修して、大切に使うつもりです。



■事業仕分けについて

問 事業仕分けの作業が終了し、広報紙で具体的な成果・評価などを見たが、行政としてどう評価しているか。また、仕分けに40万円の経費を使った。それを回収するだけの成果をどう出すのか。

答 仕分け人の判断と市民の判断には若干のずれがありますので、市民の気持ちを大切にしながら改革を進め、事業仕分けに使った予算以上の成果を出していきたいと思っています。今年度中には方向性を出し、公表していきます。

■あんくるバスについて

問 最近、地域住民の平均年齢が上がり、核家族化も進行し、病院などへ行きづらという声



を聞く。そのため、現在あんくるバスが運行していない地区も運行してほしい。それが無理なら、何かほかの方法はないのか。
答 今年度から、10路線の若干のルート見直しと、新たな手段などを調査検討しています。地区ごとに対応が異なるのか、同一のサービスとするのかなどの素案を作りたいと考えています。
あんくるバスは、労働関係の法律で、運転者には連続運転4時間につき1回の休憩を与えなければならぬという規定があります。5分10分のルート拡大をするだけで、違法となってしまう。かといって、バスと運転手を2台用意すると、運行経費が倍になります。過去7路線で5年契約の予算4億円を、今10路線で予算8億円にしまし

た。限られた予算の中で、利便性の向上について検討していきたいと思えます。

■市保健センターでの健診について



問 健診は午後ではなく、午前中にしてほしい。午後は昼寝をしている子が多いため、子どもを連れて行くのに苦労する。

答 健診の時間となる午後は、お子さんの昼寝の時間や、上のお子さんの園の迎えと重なり、ご不便をおかけしています。健診は、医師会・歯科医師会の協力を得て、医師・歯科医師の確保をしています。午前は医療機関の診療時間と重なり協力を得ることができないため、午後の実施としています。ご理解をお願いします。

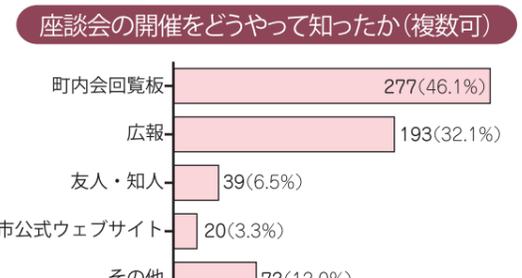
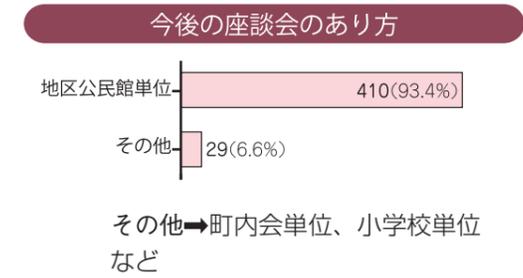
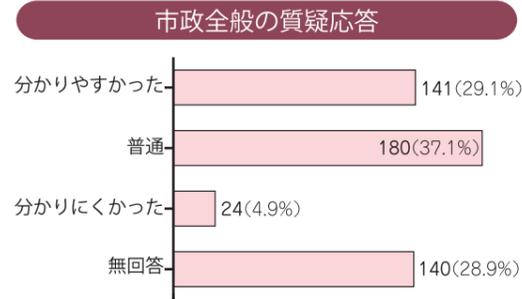
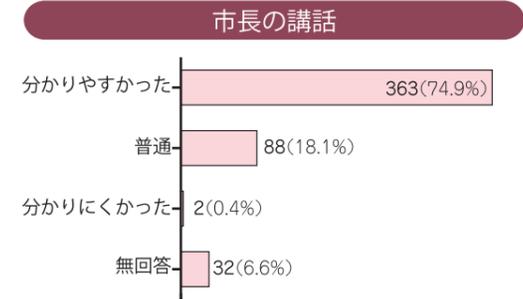


デンパークは平成9年に開園。平成24年3月に、リニューアルオープンを予定しています。若い人も、継続的に市政に関心を持っていただきたいです。市の事業は、パブリックコメントなどで呼びかけます。また、まちかど座談会や市長への手紙、メールなども実施しています。ご意見をぜひお寄せください。



特集 1

まちかど座談会から 問▶秘書課広報広聴係(☎71)2202

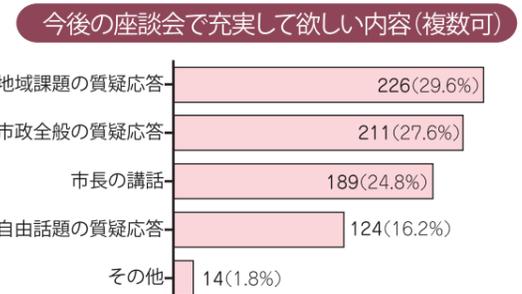


●主な自由意見

- 60歳代の参加者がほとんど。30・40歳代の世代に参加してもらうために、テーマを絞っては。
- 休日・昼間に開催すればもっと参加者が多いのでは。
- 一人の質問時間をある程度決め、多くの人が話せる会にしてほしい。

市では、市政に対するご意見やご提案を随時募集し、今後の市政運営に役立てていきたいと考えています。ご意見のある人は、「ご意見BOX」または「市長へのメール」でお寄せください。
ご意見BOX▶用紙を市役所1階案内・市政情報コーナー・各地区公民館などで配布
市長へのメール▶市公式ウェブサイトの「市長のページ」から「市長へのメール」へ

その他▶シルバーカレッジ・消防団・家庭教育学級などの会での案内



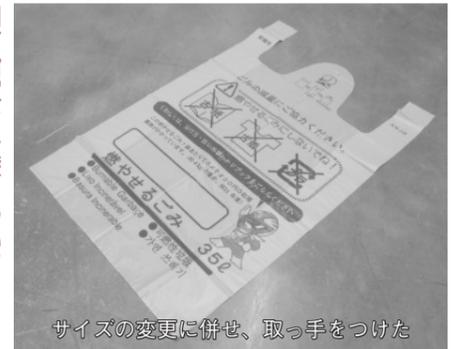
その他▶ほかの地区の意見が知りたい、年間の事業計画とその進捗状況など

まちかど座談会アンケート結果

全ての会場で、今回のまちかど座談会へのアンケートを実施しました。概要は次の通りです。

■自転車道について
問 総合運動公園前の道は、どのような道路を造っていくのか。

■市指定ごみ袋について
問 45リットルサイズのごみ袋はもう作らないのか。今までは1袋で済んだのに、2袋になる時があり、大変不自由している。
答 市指定ごみ袋は、2年ほど前に、45リットルサイズから35リットルサイズへ変更しています。これは、ごみ減量20%を目標としていたことから、袋も20%小さくして、皆さんにごみ減量を意識していただきたという思いから変更したものです。容量を減らすとともに、縛りやすさや持ちやすさなどの工夫もしました。45リットルサイズに戻すことは、現時点では考えていません。



サイズの変更に併せ、取っ手をつけた



色分けされた自転車専用道路



大東住吉線西側の自転車歩行者道

自転車道と歩道の事故が増えている。費用のかからない方法で自転車、人、車を分ける方法はないのか。歩道に自転車専用道路を造る費用があるなら、もう少し長い距離の自転車専用道路ができるのではないかと。
答 大東住吉線では、現道を利用して工事しています。昨年は、歩道を広げて自転車歩行者道としました。今年工事している反対側は、自転車の走行空間と歩行空間を別々に設けます。道路整備は、市と警察で協議をしながら実施しています。スピードの出し過ぎを防ぐため、一度歩道に入り、横断歩道の自転車走行帯を通るようにしているため、交差点付近ではどうしても狭くなります。今、市で整備している

自転車道と歩道の事故が増えている。費用のかからない方法で自転車、人、車を分ける方法はないのか。歩道に自転車専用道路を造る費用があるなら、もう少し長い距離の自転車専用道路ができるのではないかと。
問 茨城県で見たことだが、震災時、家が丈夫でも、御影石で造った塀やブロック塀がよく崩れていた。一斉に倒れて道路をふさいだり、すぐに直せず、家が丸見えになってしまったりということになる。対策や呼びかけをしてほしい。広報紙や防災マップなどで、危険なものの一つとして掲載してほしい。
答 市には、ブロック塀を生け垣に変更する場合、または新規に生け垣を造る場合、公道に沿って設置するものに対し、補助制度があります。鉄筋が入っていないとブロック塀の倒壊を引き起こし、人命に関わりますので、家庭で塀を造る時には、緑

る道路は、ほぼこの形状となります。平成21年度から、明用水の上部を利用した自転車歩行者専用道路の環境整備として、地下道、カーブ、市道との交差部分にカラー表示や車止めなどを設置しています。また、安城南高校の周辺は、夜間真っ暗になってしまつという意見から、照明を設置しています。このような安全対策をしながら、自転車が走行しやすい環境にしています。

■石・ブロック塀の危険性について
問 茨城県で見たことだが、震災時、家が丈夫でも、御影石で造った塀やブロック塀がよく崩れていた。一斉に倒れて道路をふさいだり、すぐに直せず、家が丸見えになってしまったりということになる。対策や呼びかけをしてほしい。広報紙や防災マップなどで、危険なもの一つとして掲載してほしい。
答 市には、ブロック塀を生け垣に変更する場合、または新規に生け垣を造る場合、公道に沿って設置するものに対し、補助制度があります。鉄筋が入っていないとブロック塀の倒壊を引き起こし、人命に関わりますので、家庭で塀を造る時には、緑

化も検討していただければと思います。広報紙に掲載し、アピールしていきたいと思えます。※本紙昨年12月1日号に掲載。

■水害マップについて
問 近くに矢作川があり、地震による津波だけでなく、大雨による水害の恐れもある。水害マップがあるなら教えてほしい。
答 平成19年に洪水ハザードマップを全戸配布しています。片面は、鹿乗川・猿渡川などがあふれた場合の浸水の深さを、もう片面は、矢作川を含めた浸水の深さを入れたものです。矢作川があふれた場合、矢作川沿いの水田地帯で2〜5メートルの浸水となります。

津波は、現段階では三河湾で2、3メートルくらいで、その波が矢作川をさかのぼり、志貴野橋あたりで消えるのではないかと聞いています。

